

がんばりを認めて ほめて伸ばす

校長 須藤 真

先日、あるホームページで、こんなお話を見つけました。内容は「ほめ方」についてです。

ある大学の教授が、小学生を2つのグループに分け、テストに取り組みせました。そして、テスト終了後にそれぞれ次のようにほめたそうです。

Aグループには「とてもいい成績ね。がんばって取り組んだのね」と、プロセスや努力をほめました。

Bグループには「とてもいい成績ね。あなたは頭がいいのね」と、才能や結果をほめました。

その後、またテストに取り組みせるところ・・・

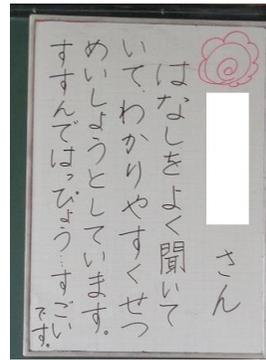
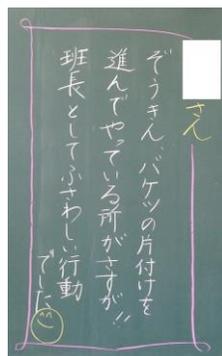
Aグループは、難しいテストに挑戦したいという意欲をもつようになり、問題が難しくなっても自信を保ち続けました。

Bグループは、簡単なテストを選びたがり、問題が難しくなると自信を失い、採点を自分でさせると点数を水増しする傾向が見られました。

このことから、才能や結果だけをほめると、次もほめられたいから簡単な問題しかやらなくなり、プロセスや努力をほめると、結果はどうであれ「挑戦している事」自体をほめられるので、勇気付けられるということが見えてきます。

子どもたちの「自己肯定感」を高めるために大切なこととして、「ほめて伸ばす」ことがあると思います。学習や行事に取り組む際は、ただ活動させるだけではなく、子ども自身にめあてをもたせて、それに向かって努力させ、どこまで達成できたかをきちんと振り返らせます。その際に、点数や結果だけでなく、それまでの取り組みや努力、がんばりを認め、ほめて伸ばすことが大切だと思います。

朝、子どもたちが登校し教室に入ると、黒板に、担任からのメッセージが掲示されています。子どもたち一人一人が、がんばっていること、良い取り組みをしていることなどを認め、ほめるメッセージです。子どもたちの自信につなげ、自己肯定感を高める取り組みとして継続して行っています。



6年生は、6月30日（木）7月1日（金）に一泊二日の修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染防止対策を行い、県内（庄内方面）での旅行でしたが、内陸と違った文化や歴史に触れることができました。

出発式では三つのキーワードの話をしました。

「タイム」・・・時間を守る

「マナー」・・・マナーを守る

「エンジョイ」・・・思い切り楽しむ

時間を守って行動し、体験しながらマナーを身に付け、事故や怪我、体調不良もなく思い切り楽しめた修学旅行でした。



最上川舟下り



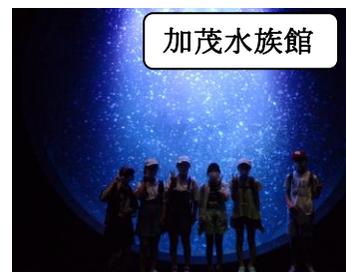
山居倉庫



羽黒山 五重の塔



三神合祭殿



加茂水族館



致道博物館



宿での夕食

14	木	
15	金	以心会幹事会
16	土	e-ライブラリの日
17	日	e-ライブラリの日
18	月	e-ライブラリの日 (祝) 海の日
19	火	引き渡し訓練
20	水	
21	木	Q-U研修会
22	金	1学期終業式 反省職員会議
23	土	夏季休業～8/21まで
24	日	
25	月	
26	火	校内事前研究会 備品点検
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	
8/1	月	
2	火	学校集金振替日 イングリッシュキャンプ
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	ひがしね祭り
11	木	ひがしね祭り (祝) 山の日
12	金	学校閉庁
13	土	
14	日	
15	月	学校閉庁
16	火	学校閉庁